



PRESS RELEASE (2016/5/20)

九大生の挑戦的研究や起業家精神を支援するコンテスト 「九州大学チャレンジ&クリエイションプロジェクト2015」

チャレンジ&クリエイション (C&C) は、「キャンパスから創造と挑戦の風を起こそう」をテーマに掲げ、九州大学の学生のユニークなアイデアや研究プロジェクトの実現を助成する全学事業です。1997年にスタート後、毎年実施、九州大学の独自性を示す象徴的な教育プロジェクトとなっています。個人または学生グループが、自ら企画・計画したアイデアや研究計画を審査、新規性や社会的インパクト等を基準にチーム採択します。採択されたチームは最大50万円の資金提供を受け、計画実現を目指します。約1年度の成果報告を審査し、優秀チームを表彰する、というものです。学生は自ら設定した目標実現に向けて、直面する課題と向き合い、問題解決を図り続けていく一連のプロセスを通じ多くを学びます。QRECの看板事業の一つとなっております。

＜2016年度応募者審査会 開催情報＞

2016年5月22日(日) 13:00～ (伊都キャンパス パブリック1号館2階/シリコバレー・ルーム)

研究者からひとこと：

最優秀賞を受賞したプロジェクトは、海外コンテストで入賞を果たすものもあり、また、地域企業と連携して新たな段階に歩みを進めるものも出てきております。それ以上に学生が自ら課した課題に日々向き合い問題解決を試みる行動から学生自身が学ぶことが最も大切なものであり、C&Cが狙いとするものです。

◎歯槽骨吸収疾患におけるコンピューターと三次元造形機を応用した次世代型骨造成治療用人工作製ネットワークシステムの開発と普及

代表: 大多和 徳人(おおたわ なると)

近年、歯科治療ではインプラントが一般になりつつあるが、歯槽骨に疾患を有する患者には歯科医師が手作業で人工骨を造成する必要があり、医師、患者ともに大きな負担となっている。本件は、三次元スキャナーで患者の骨の欠損状況を計測し、3Dプリンターにより生体吸収バイオ材料で欠損部分を事前成型し、その人工骨を患者に移植する構想である。監督官庁の承認が必要となるので長期プロジェクトとなるが構想は先進的であり社会的意義は大きい。



◎次世代風力開発プロジェクト 代表者: 大瀧 裕也(おおたき ゆうや)

今後、我が国の風力発電市場では低高度の小型発電機が注目されている。しかし、低高度では頻りに風の変動が発生し効率的な発電を実現することが困難であった。本チームは過去に独自設計の計測用の風洞の開発に成功しており、本プロジェクトでは、その計測値を基礎として最高レベルの発電効率と大幅な製造コスト削減を両立させており成果は高く評価できる。なお、本件は海外の環境技術コンペ「TECO Green Tech 2015」に参加して最優秀技術賞を獲得した。